

流れるままに(57)

=人間であること=

聖書:詩篇8:5-7;144:3-4;ヨハネ1:14;ルカ24:39;ローマ5:17-21

- ①人に対する神の思い→私たちが自分に対する思いを超える
- ②神は人となられた→真の靈性とは人、しかも健やかな人であること
- ③復活のイエスの様も人であった
- ④昇天されたイエスの様も人であった(ルカ24:51)
- ⑤人として主は再臨される(使徒1:11)
- ⑥主の人間性と経験とひとつとされる(ローマ5:17-21)

●暗証聖句●

詩篇8:4 あなたの天を、あなたの指の業を／わたしは仰ぎます。月も、星も、あなたが配置なさったもの。

8:5 そのあなたが御心に留めてくださるとは／人間は何ものなのでしょう。人の子は何ものなのでしょう／あなたが顧みてくださるとは。

8:6 神に僅かに劣るものとして人を造り／なお、栄光と威光を冠としていただかせ

8:7 御手によって造られたものをすべて治めるように／その足もとに置られました。

144:3 主よ、人間とは何ものなのでしょう／あなたがこれに親しまれるとは。人の子とは何ものなのでしょう／あなたが思いやってくださいとは。

144:4 人間は息にも似たもの／彼の日々は消え去る影。

ヨハネ1:14 言は肉となって、わたしたちの間に宿られた。わたしたちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた。